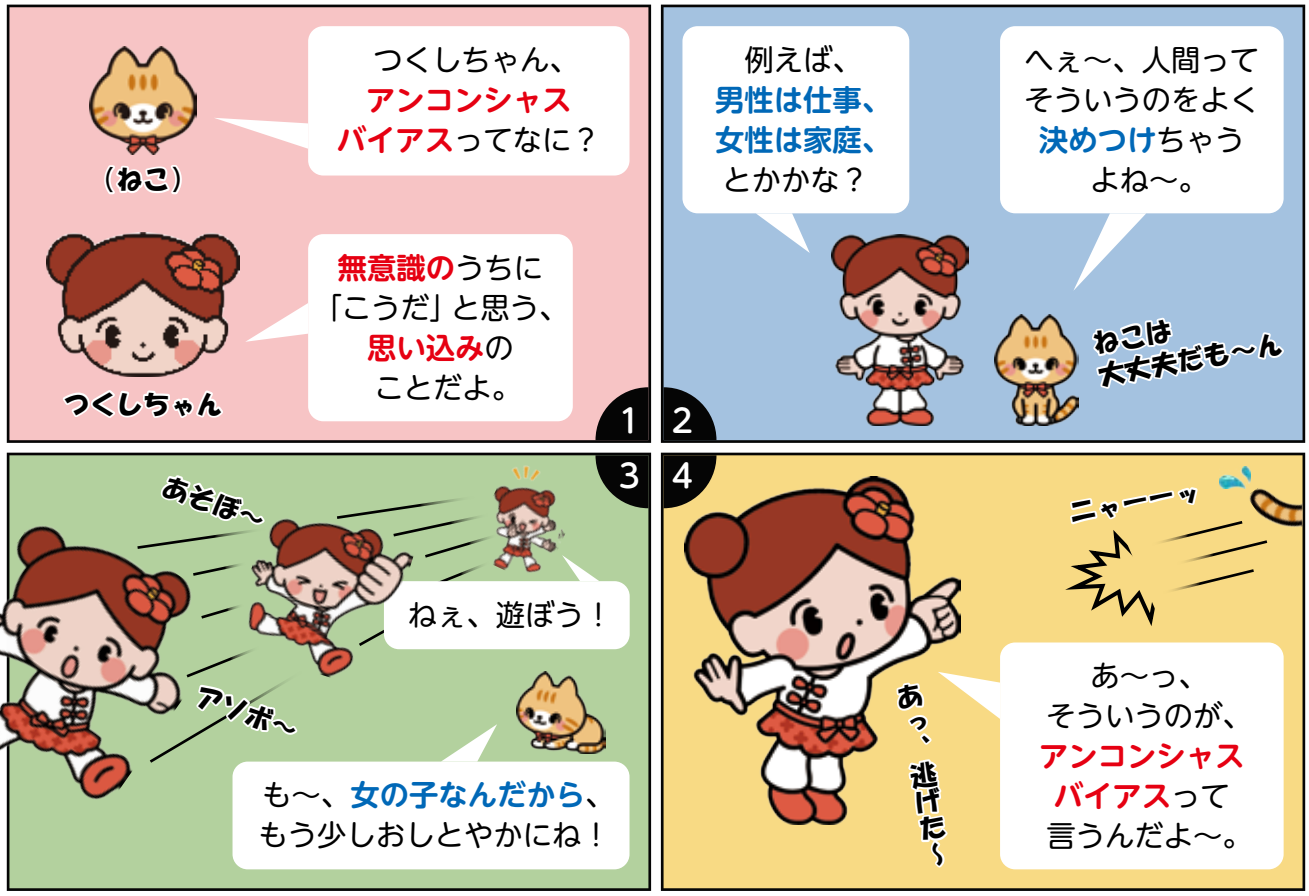
人権問題特集号

【人権尊重のまちづくりスローガン】
「自分が人からされたり　言われたりしていやなことは
自分は人にしない　言わない」

広報 ちくしの



あなたの中の「アンコンシャスバイアス」によって、誰かが傷ついたり、生きづらさや働きづらさを感じたりしているかもしれません。次のような思い込みはありませんか?

日常で
男性は人前で泣かない方がよい
子どもの看病をするのは母親だ
高齢者はスマホが苦手だ など

職場で
リーダーは男性の方が向いている
来客へのお茶出しは女性の方がよい
独身ならたくさん残業できるはずだ など

自分は「大丈夫」、自分には「偏見がない」と決めつけず、相手の個性や立場を認めていくことで、誰もが自分らしく生きられる**「人権尊重のまちづくり」**をめざしましょう。

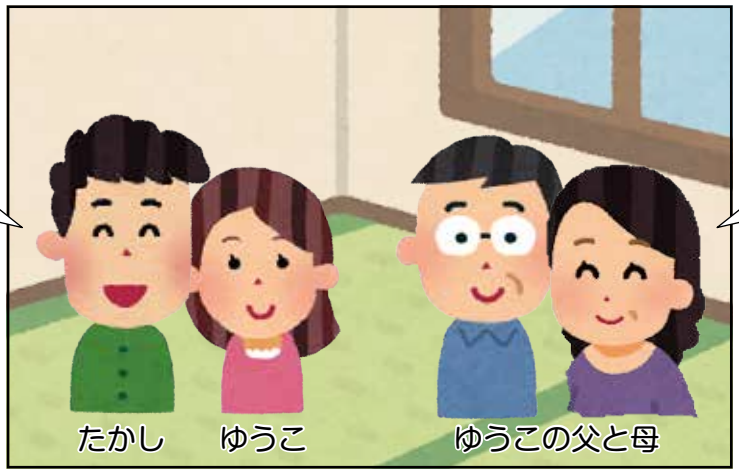
目次

●認め合おう、支え合おう ……2
●助け合い 支え合い 思い合い ……3
●「いじめ」って? ……4
●ストップ!子どもの虐待 ……5
●あなたならどうする? ……6
●ほめほめタイムでニコニコ笑顔 ……7

2024
12

認め合おう、支え合おう

たかしさん・ゆうこさん夫婦が帰省した時の事



男性も家事はできますし、育児休暇の制度だってあります。

それに…
家事や育児の問題は家族の問題です！
夫婦で協力していくので大丈夫ですよ。

筑紫野市の調査によると、約8割の家庭で主に女性が家事をしています。その中で、ずっと働き続けたいと思う女性も6割を超えています。

性別による役割分担や決めつけは、男女ともに生きづらさを感じさせます。お互いの意思を尊重し、認め合うことで誰もが働きやすい社会の実現につなげましょう。

助け合い 支え合い 思い合い

私の家の隣には80代のおばあさんが住んでいます。

5年前から一人ぐらしになり、庭は草木が生い茂り、室内も物が散乱しているようです。

心配になった私が

と言うと…

と断られました。

それでも気になった私は、母に話してみました。すると…

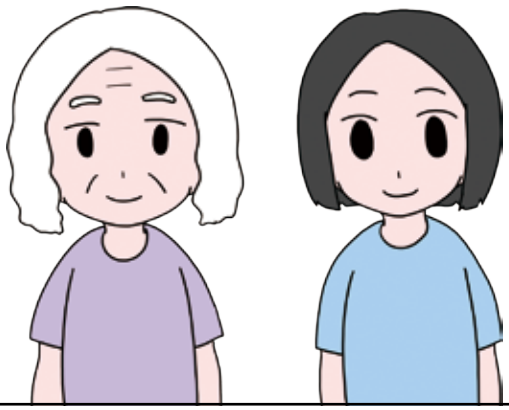
と言ったので、民生委員を訪ねることにしました。

翌日、民生委員さんのところに行くと・・・

それからしばらくすると、おばあさんの家は、すっかりきれいになっていました。

民生委員さんが連絡をし、シルバー人材センターの方が庭の手入れをしたり、ヘルパーさんが室内の掃除を手伝ったりしてくれたからでした。

笑っているおばあさんの姿を見ていると、なぜだか私もうれしい気持ちになりました。

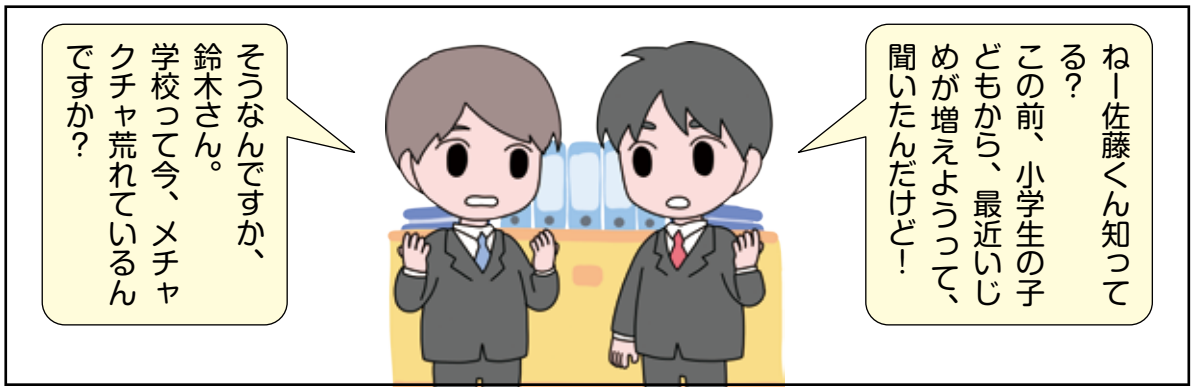


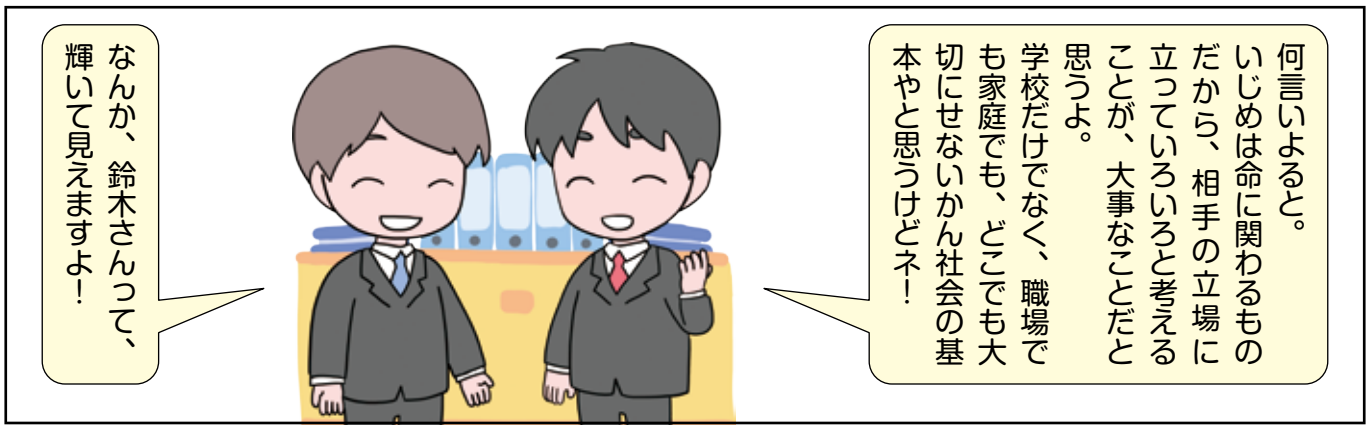
一人ぐらしの高齢者や高齢者のみの世帯は年々増えています。その中には、他に助けを求めることができない人もいます。

そんな人たちに気づくためには、相手の状況を想像してみることが大切です。その想像が新たな行動を生み、豊かな人間関係をつくっていきます。

あたたかな人と人とのつながり…それは人権尊重のまちづくりの基本となるものなのです。

「いじめ」って？





いじめをなくしてくいために

いじめは、不登校の原因の一つになったり、人との関係を断ち切ったりする深刻な問題です。また、安心・安全に暮らす権利をもっている子どもたちの成長を妨げるものです。

子どもたちが幸せに暮らすことのできる社会をつくっていくためには、いじめをなくしていくことが必要です。

そのためには、学校だけでなく、家庭や地域の協力が必要不可欠になります。あなたの周りのできることから始めてみませんか。

【なくしていくためにできることは】

○日常では
常に相手の立場で物事を考え、発言や行動をする。

○家庭では
子どもと話す時間を少しでも作り、嫌なことなど話せる環境を整える。

○地域・社会では
いろいろなことを気にかけたり、困っている人の相談にのったりする。

いじめをなくす取組は、様々な人権問題の解決に共通することです。人と人とのつながりを大切する筑紫野市をめざしていきましょう。

ストップ！子どもの虐待

私には、六歳と二歳の子どもがいます。私にとって、とても大切な存在です。

でも、言うことを聞かないとき、つい、大声でどなったり、叩いたりしてしまうことがあります。

子どもが泣きついてきても、手をあげてしまった手前、すぐに優しく抱きしめることもできません。後悔で、どうしたらいいのかわからなくなります。

悩みを相談したい気持ちはあっても、自分が子どもを叩いてしまっていることなんて、人に言いにくくて…。

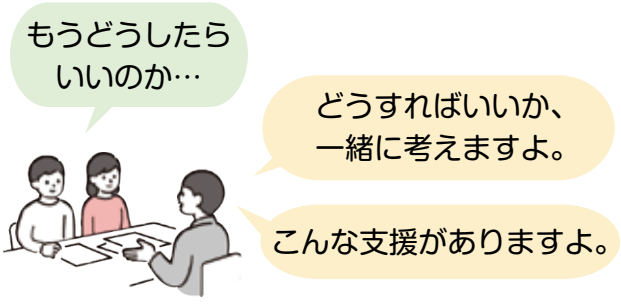
相談することで、救える命があります
相談にのることで、救われる親がいます

★筑紫野市子ども家庭センター ☎092-921-1308　★児童相談所虐待対応ダイアル ☎189（いちはやく）

相談しよう

子ども家庭センターのことを知った私は、すがる思いで電話をかけました。

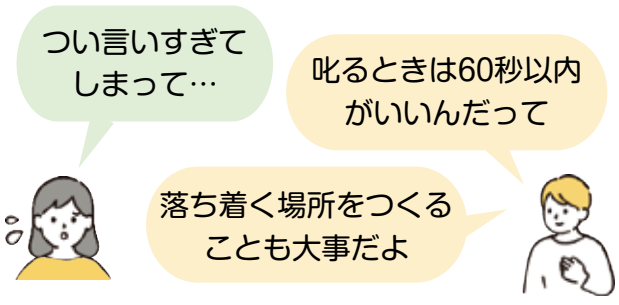
直接、担当の方が話を聞いてくれました。



相談にのろう

隣の家から子どもの泣き声がよく聞こえることに気づいた私は、思い切って声をかけました。

子育ての相談にのることができました。



虐待は子どもたちの心や身体を傷つけるだけでなく、その大切な命まで奪いかねないものです。子育ての悩みは一人で抱え込むものではありません。「こんなことで相談したら…」と思わずに、まずは相談してみましょう。

あなたならどうする？

帰宅途中に、孝一の担任の先生から電話がかかってきました。

電話に出ると、孝一が、友だちに向かって「キチガイ」と言ったという話がありました。

私は何が問題なのかが分からなかったので、尋ねました。

すると先生は、

その言葉で相手を攻撃することは、しょうがいを持っている人への差別意識の表れなのです。

と教えてくれました。

説明を受けた私が、

と言うと、先生は…

差別発言には何かしらの原因があります。孝一さんに最近、何か変わったことは、ありませんでしたか？

と尋ねてきました。

改めて　ふりかえって気づいたのは、

そのことを伝えると、先生は、

と語りかけてくれました。

私は今、家に帰ったらすぐに孝一を抱きしめて、いろんな話をしようと思っています。

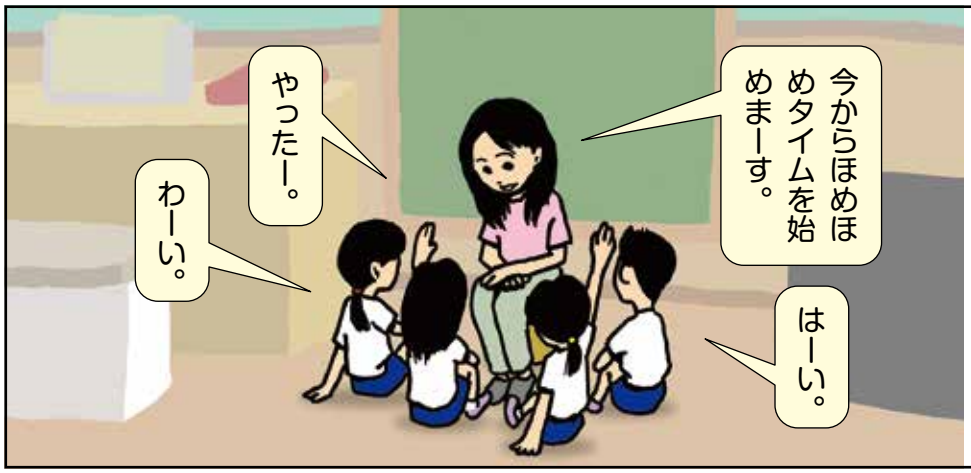
息子の担任の先生と話して、私はしょうがい者に対する正しい理解ができていない自分に気づきました。

そして、気づかないうちにだれかを傷つけていないか考えるようになりました。

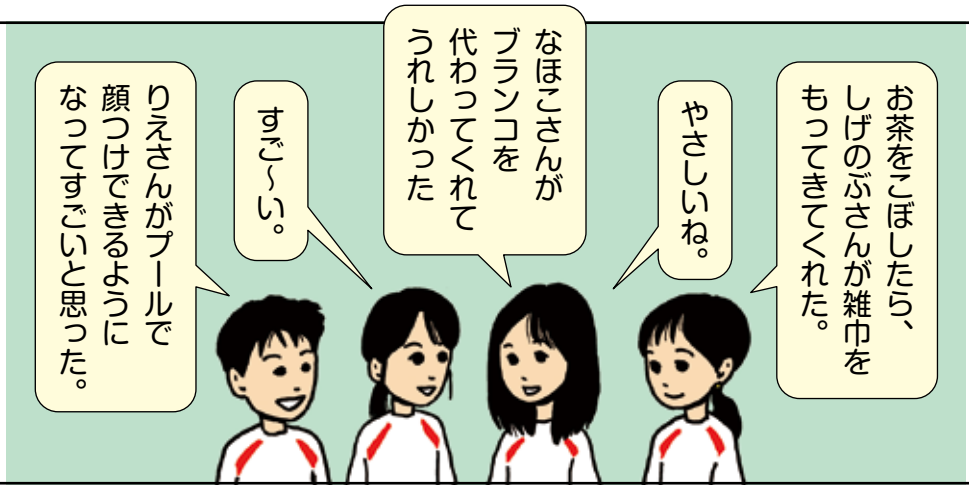
私はしょうがい者問題について知りたいと思い、後日、市で開催されたしょうがい者問題を考える研修会に家族と一緒に参加しました。

ほめほめタイムでニコニコ笑顔

ある幼稚園では、一日をふりかえり、みんなをほめあう「ほめほめタイム」を設けています。

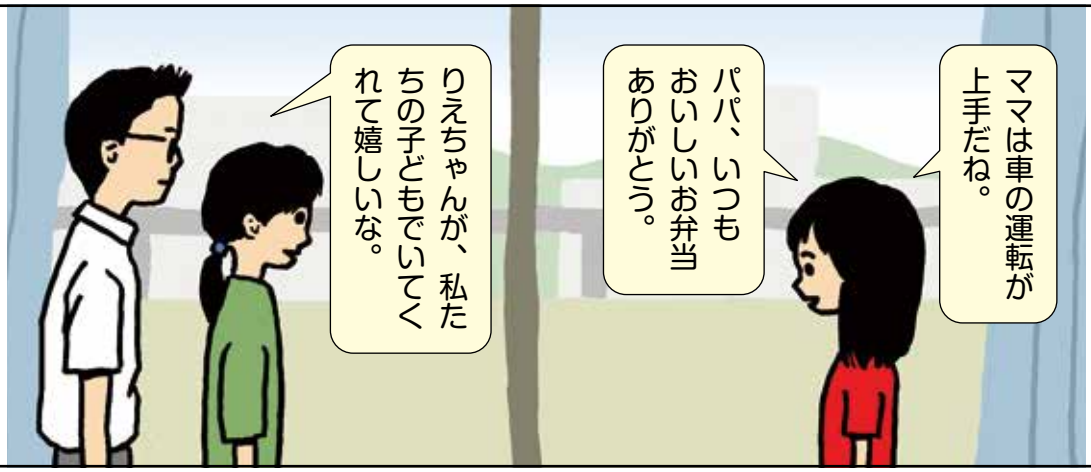


先生がほめたいことを尋ねると、子どもたちは…



と言い合います。

ほめることが好きになったりえさんは、家に帰っても…



と笑顔で楽しくすごしています。

ほめほめタイム

ほめられると
こころがポカポカ
ニコニコえがおになる

もっと自分のこと
みんなのこと
ほめようよ
失敗してもいいじゃない

あなたがいるだけで
ありのままでいいんだよ

自分大好き
あなたも大好き
みんないいところ
いっぱいだよ

ほめ合って
えがおいっぱいの
まいにちにしよう

みんなでやろう
ほめほめタイム

広報ちくしの 「人権問題特集号」 12月アンケート用紙

(当てはまるものに○をつけてください。)

①「人権問題特集号」は…

- □ よかった
- □ まあよかった
- □ あまりよくなかった
- □ よくなかった

②心に残った内容は…

- □「認め合おう、支え合おう」
- □「助け合い 支え合い 思い合い」
- □「『いじめ』って?」
- □「ストップ!子どもの虐待」
- □「あなたならどうする?」
- □「ほめほめタイムでニコニコ笑顔」

③感想をお聞かせください。

人権問題特集号　アンケートのお願い

市民の皆さんに人権問題について知って考えていただく一つの資料になることを願って、今回の「人権問題特集号」は、家庭や地域で見られる人権問題や子どもたちに視点をあてた内容を掲載させていただきました。

つきましては、是非読んでいただき、よろしかったら感想等を届けていただきますようお願いいたします。今後の編集に活かしていきたいと思いますので、趣旨をご理解のうえご協力を重ねてお願いいたします。

○アンケート回答の方法

①F A X:上のアンケート用紙に記入のうえ以下の番号にＦＡＸください。
→筑紫野市教育政策課人権・同和教育担当：(092)923-9644

②郵　送:上のアンケート用紙に記入のうえ以下の住所にご送付ください。(12月26日まで)
→筑紫野市教育政策課人権・同和教育担当：
〒818-8686　筑紫野市石崎一丁目１番１号

③メール:k-kyoumu@city.chikushino.fukuoka.jp

④筑紫野市ホームページ：
以下の手順で「広報ちくしの　人権問題特集号」に入っていただき感想をお寄せください。
「くらし・手続き」→「人権・男女平等　人権」→啓発冊子「広報ちくしの　人権問題特集号」
※携帯電話・スマートフォン等で読み取るとアンケートページにつながります。

編集後記

能登半島地震の大災害から始まった今年は、パワハラ、カスハラなど、様々なハラスメントが引き起こされ話題となりました。子どもたちの世界でも、いじめ、虐待等が引き起こされ、その件数が増加していると言われています。

筑紫野市の人権尊重のまちづくりスローガン「自分が人からされたり言われたりしていやなことは、自分は人にしない、言わない」は、相手の立場に立って考えることを大切にしています。

社会的弱者の思いを共感的に受け止め、自らの関わりを振り返る機会にしていただければ幸いです。

2024年12月１日発行
広報ちくしの「人権問題特集号」
■編集発行
筑紫野市
筑紫野市教育委員会
筑紫野市同和教育研究会
筑紫野市同和問題啓発資料編集員会
■問い合わせ先
筑紫野市教育委員会教育政策課
TEL：(092)923-1111
■印刷　久野印刷株式会社